

平成30年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立久喜工業高等学校)

目指す学校像	自分創りを目指し、望む進路実現を図り、真の感動を味わえる”こころ・技・からだ”が育つ学校 －①もの創りの”こころ”と”技”を身につけた人づくりを目指す。 ②知・徳・体のバランスのとれた人づくりを目指す。－
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 個に応じた学力と技術力の向上を推進する。授業態度の確立を図る。授業内容の充実を図る。資格取得等を奨励する。 基本的生活習慣の確立と向上を推進する。欠席、遅刻、早退の減少を図る。服装、頭髮指導の徹底を図る。挨拶と正しい言葉遣いの励行を図る。 個々の生徒に応じた進路指導を充実する。生徒の職業観や勤労観を育成するとともに、進路希望に応じたきめ細やかな指導を行う。地域の信頼と期待に応える開かれた学校づくりを推進する。中学生やその保護者に積極的な情報提供を行う。小学校との交流及び地域の行事等への参加。 中学生やその保護者に積極的な情報提供を行う。小学校との交流及び地域の行事等への参加。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	6	名
	生徒	3	名
	事務局(教職員)	11	名

学 校 自 己 評 価				学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 6 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況		
1	<p>・昨年度、欠点数及び成績不振者数は減少した。しかし、授業に積極的な生徒や自ら学習に取り組む生徒は多いとは言えない。不振者のさらなる減少とともに成績優良者の増加も課題である。</p> <p>・学校全体で資格取得に取り組む体制が整いつつあり、これまでにない数の県表彰、全国表彰を受けることができた。資格によっては学科の枠を超えて受験、合格している者も出ている。今後も資格取得、学科の枠を超えた資格取得も推進する必要がある。</p>	<p>授業改善・学力向上</p> <p>①分かる授業展開の工夫を考え、実践する。また、学力向上のための体制を構築する。</p> <p>②資格取得の意欲喚起と同時に、学校全体で資格取得に取り組む体制を確立する。(資格取得に対する目標を持たせる)</p>	<p>①各教科・各学科の基礎学力向上のための取組を継続、授業改善を推進するとともに学力向上委員会を中心に学習体制を整備する。</p> <p>①基礎学力を定着させるとともに成績上位者への対応を検討する。</p> <p>①生徒自らが学習に取り組む意欲を喚起し、自ら学習できる環境を提供する。</p> <p>②取得可能な資格取得一覧に加え、取得状況を把握できるシステムを検討し、教員間での情報を共有しやすくするとともに保護者への情報提供を行う。</p> <p>②各教科で資格取得への案内強化と補習などの実施で合格率を向上させる。</p>	<p>①欠点数や成績不振者を前年度より10%減少できたか。</p> <p>①成績優良者を前年度比10%上昇したか。</p> <p>①生徒アンケートで「学習に意欲的に取り組んでいる」と回答した生徒が70%以上にできたか。</p> <p>②各資格の受験者および合格者が10%以上増加したか。</p> <p>②専門資格表彰、ジュニアマイスター表彰者が10%以上増加したか。</p> <p>②生徒アンケートで「資格取得に必要性を感じ、積極的に取り組んでいる。」が60%以上になったか。(新しい質問項目の設定)</p>	<p>学習体制を整備する為に、学力向上委員会を中心に学びの基礎診断測定ツールの導入に着手した。</p> <p>①欠点数は30%、成績不振者は37%増加した。</p> <p>①成績優良者は前年度比10.3%増加した。</p> <p>②主な資格は授業内での学科対応が多く、受験者数はほぼ同等である。</p> <p>②専門資格表彰者は6.7%、ジュニアマイスター表彰者は59%と増加した。今年度からブロンズ表彰が加わった。</p> <p>①②「授業内容に興味関心がある」67%。「進路決定に向けての希望や保護者の期待に応えている」86%。</p> <p>資格取得について、これらの数値の中に大きく反映されている。</p>	B	<p>①欠点数や成績不振者の増加が認められたことについて、生徒アンケート等を細部に分析をし、授業形態や生徒の意識改革を早急に考える必要がある。</p> <p>②資格取得や各種表彰については、多く取得している現状から、新たな資格の導入がどこまで図れるか、資料等情報を集め、検討してゆきたい。</p>
2	<p>・ここ数年、遅刻数の減少を目標に各学年とも継続した指導を行ってきたが、昨年度は1732回と、遅刻数が一昨年度比30%減少した。今年度はさらに遅刻指導を徹底し、遅刻数の減少に取り組む必要がある。遅刻カードについては、今年度も継続して実施する。</p> <p>・例年、進路変更をする生徒は1年次がほとんどのため、入学直後から学年団を中心に全教職員で連携して、きめ細かい指導を実施する必要がある。</p>	<p>生徒指導</p> <p>①基本的生活習慣確立のための遅刻指導・挨拶指導を重点的に継続する。</p> <p>②進路変更、退学者を出さない、問題行動を起こさせない指導を充実させる。</p>	<p>①遅刻指導を年間10週以上実施する。(遅刻カードの活用)</p> <p>①挨拶指導、登下校指導、巡回指導を年間10週以上実施する。</p> <p>①自転車の乗り方講習会を実施する。</p> <p>②整容指導を年間5回以上実施する。</p> <p>②生徒対象のいじめアンケートを実施する。</p> <p>②生徒対象いじめ・SNS講習会を実施する。</p> <p>②教職員対象の発達障害に対する研修会を実施する。</p>	<p>①昨年度、大幅に減った遅刻数を維持できたか。</p> <p>①あいさつ、身だしなみがしつかりしたか。</p> <p>①自転車をはじめとする交通事故が減少したか。</p> <p>①生徒アンケートで「久喜工高は遅刻防止指導に、計画的に取り組んでいる」と回答した生徒を90%以上にできたか。</p> <p>②進路変更、退学者数が前年度比5%以上減少したか。</p> <p>②問題行動(指導件数)が前年度比5%以上減少したか。</p> <p>②生徒アンケートで「久喜工高は服装・頭髪などにきちんと指導を行っている」と回答した生徒を90%以上にできたか。</p>	<p>学年と連携して遅刻防止に取り組み、2学期末までの遅刻総数が1,132回であり、昨年同時期比10%削減することができた。</p> <p>①登下校指導を12回実施し、挨拶、身だしなみ、交通マナー等を指導した。</p> <p>①自転車の交通事故は3件と昨年度より50%増加。</p> <p>①『久喜工高は遅刻防止指導に、計画的に取り組んでいる』と回答した生徒は、80%であった。</p> <p>②進路変更生徒数は、昨年同時期より25%増加。今年度も生徒指導がらみの進路変更はない。</p> <p>②問題行動件数は昨年同時期と比較して45%増、指導人数は倍増となった。</p> <p>②『久喜工高は服装・頭髪などにきちんと指導を行っている』と回答した生徒は、93%だった。</p> <p>②生徒対象いじめアンケートを2回実施。いじめ・ネット、交通安全に関する講演会を実施した。</p> <p>②近年増えている発達障害や、それに類する生徒の指導法について、教職員対象の講演会を実施した。</p>	B	<p>・遅刻カードについては、遅刻数が大きく減少した昨年度を下回っているため、効果が出ていると考えられる。今後も継続していきたい。</p> <p>・遅刻が常習化している生徒の対応を、保護者と連携して取り組む必要がある。</p> <p>・遅刻防止への取り組みは、成果は出ているが、生徒には理解されていないようだ。</p> <p>・問題行動の減少については、職員間の連絡を密にし、早期に対応する必要がある。</p> <p>・登下校時の交通安全、社会マナーを身につけさせる指導を徹底するため、登下校指導での声掛けを充実させる。</p> <p>・進路変更をする生徒は1年次がほとんどのため、入学直後から全教職員で連携してきめ細かい指導を実施する。また、中学校と密な連携を図り、目的意識のある生徒を入学させることが重要である。</p>
3	<p>・本校では、進路未定者を出さない為に様々な指導を継続して行っている。その結果、7年間、就職率・進学率100%を達成している。しかし、進路意識の希薄に起因した、就職や進学共に内定に時間の掛かる生徒も一部出てきている。そのため、入学当初からの学年と協力した計画的な進路指導を行うことが課題である。</p>	<p>進路指導</p> <p>①就職率・進学率100%を実現する。</p> <p>②3年連続で就職試験1回目の合格率率を80%以上を継続させる。</p>	<p>①企業との面談を強化する。(情報収集の強化)</p> <p>①進路指導部内での情報共有を強化する。</p> <p>①進路指導部と3学年との連携を密にとる。</p> <p>②インターンシップの企業連携先を開拓する。</p> <p>②求人企業との面談の質を高めて適切な情報提供を行う。</p> <p>②面接指導を効果的なタイミングで実施する。</p>	<p>①就職率・進学率100%を早期に実現できたか。</p> <p>①生徒アンケートで「進路決定にむけて、生徒の希望や保護者の期待に応えている」と回答した生徒を80%以上を継続できたか。</p> <p>②求人件数を5%増加を実現して選択肢を増やせたか。</p> <p>②来校求人数を5%増やし、生徒に適切に情報提供が行えたか。</p> <p>②生徒個々に5回以上の面接練習の機会を提供できたか。</p>	<p>就職率99%進学率100%を達成し多くの生徒が早期に進路実現を果たすことができた。</p> <p>①『進路決定にむけて、生徒の希望や保護者の期待に応えている』と回答した生徒が86%で目標を達成。</p> <p>②求人件数昨年1746件、今年2138件で20%以上の増加。</p> <p>②来校求人数も増加し10%以上の目標を達成。</p> <p>②面接練習の機会を5回以上設けて、就職試験1回目の合格率率90.1%で前年の87.1%を越えた。</p>	A	<p>・生徒が適切な進路選択をできるように情報提供を適切に行う。また、就職率・進学率達成100%を早期実現する。</p> <p>・就職試験1回目の合格率率90%達成を維持する。</p> <p>・保護者と連携して生徒のミスマッチによる早期離職を予防する。</p> <p>・企業との情報交換を積極的に行い、生徒に適切なタイミングで質の高い情報提供を行う。</p>
4	<p>・中学生や保護者及び地域住民に、「工業」をイメージするだけでなく、本校の教育活動、特に実習を中心としたカリキュラムや充実した進路指導のなどを幅広く知ってもらえるような継続した取組が必要である。今年度から、新設した広報部を機能させて生徒募集のための、学校説明会や体験入学をより充実させる。また、継続して地域の各種イベントに積極的に参加し、地域にねぎした高校として貢献する。</p>	<p>開かれた工業高校づくり</p> <p>①学校内外への積極的な情報発信を行い、学校理解を進め、志願者数を確保する。</p> <p>②地域に根付いた工業高校として、様々なイベントに参加し、地域に貢献する。</p>	<p>①学校のHPやチラシ等を活用し、学校の教育情報を発信する。</p> <p>①学校PR資料「久喜工だより」を毎学期作成し、該当中学校3年生に向けて配布する。</p> <p>①積極的に中学校への出前授業を実施する。</p> <p>①メールの保護者登録を推奨し、緊急連絡をはじめ、テストや行事前の情報発信を行う。</p> <p>②地域の行事参加や小中学校及び児童センターとの交流等を継続し、年間15回以上対外的な活動を行う。</p>	<p>①学校HPのアクセス回数を昨年度比5%以上増加させる。</p> <p>①学校PR資料を毎学期作成し、該当中学校3年生に向けて配付する。</p> <p>①全学科参加で中学校への出前授業を実施する。また、進路行事にも積極的に参加して、入学志願者倍率を1.0倍を超える。</p> <p>①メールの保護者配信登録は90%以上をめざし、テストや行事前の情報発信を行う。</p> <p>②地域の行事参加や小中学校及び児童センターとの交流等で年間15回以上対外的な活動を行ったか。</p> <p>②生徒アンケートで「久喜工高は、地域からいい学校だと評価されている」と回答した生徒を70%以上にできたか。</p>	<p>学校内外へ効果的に情報を発信し学校理解に努め、地域に根付いた工業高校としての認知度を高めた。</p> <p>①学校HPアクセス数昨年度比4%増加。</p> <p>①学校PR資料(久喜工だより)を年間4回発行。</p> <p>①全学科で中学校への出前授業を計画的に実施。</p> <p>①学校説明会で各回ごとにテーマを設けて計画的に実施した。</p> <p>①メールの保護者配信登録数は1054件で各家庭登録割合は90%以上を昨年に引き続き達成。</p> <p>①メールの配信回数は25回で行事連絡などの情報発信を混乱なく行った。</p> <p>①地域行事参加など対外的な活動を15回実施。</p> <p>②『久喜工高は、地域からいい学校だと評価されている』と回答した生徒は65%であった。</p>	B	<p>①学校HPのアクセス回数を増やし、本校の魅力を発信する。</p> <p>①学校PR資料(久喜工だより)を継続して年4回発行する。</p> <p>①生徒募集倍率に直結する学校説明会を広報部を中心に効果的に企画、運営する。</p> <p>①メールの保護者配信登録数を増やし全家庭の登録を目指す。</p> <p>①メール配信を継続して行い、保護者の学校への信頼を高める。</p> <p>②地域の行事参加など対外的な活動を引き続き実施し、地域に根付いた高校としての認知度を高める。</p>

実施日	平成31年2月15日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>○成績不振者と成績優良者が増えていて二極化が進んでいると考えられます。大学でも同じ傾向にあり、指導の難しさを感じています。高校と大学で協力して解消できればと考えています。</p> <p>○37%増加した成績不振者への対応策を考えてあげてください。一回つづいた生徒がその後も続けて欠点をとってしまうと思います。その都度の解消を考えた方がよいと思います。</p> <p>○資格取得希望者数と、合格者数がわかると思います。</p> <p>○昨年からの課題である遅刻の削減では、特定の生徒が繰り返して総数を増やしているという点の解消に向け努力を続けてください。</p> <p>○ゴミのポイ捨てなどが学校のイメージに影響すると思います。ご指導お願いします。</p> <p>○カウンセリングが必要な生徒やLGBTで悩む生徒の対応策を考えてあげてください。</p> <p>○進路実績は素晴らしい数字だと思います。早期離職を防ぐ取り組みもお願いします。</p> <p>○工業高校の求人状況が良いので企業は普通高校の生徒や外国人の採用も考えていますが、工業高校の生徒の技術は他からは得難い技術であると実感しています。</p> <p>○企業との絆を深める為にも是非インターンシップを今後も継続してください。</p> <p>○生徒アンケート「久喜は地域からいい学校だと評価されていますか?」では65%で目標に5%届かなかったようですが、地域自治体、住民からの評価は高いです。安心して継続してください。</p> <p>○学校説明会の各実施回ごとにテーマを設けて、中学生が今欲しい情報を提供する事は効果的だと思います。是非継続してください。</p>